

第4節 2日目：8月2日（火）： 鎌手～浜田 晴れ

2022年8月2日（火）晴れ、山陰本線仕上げ旅の2日目は、鎌手駅から浜田駅までの営業キロ29.4kmに挑戦する。本日は浜田発の列車の出発時刻が7時35分と比較的ゆっくりした時間帯であったので、ホテルで朝食をとって臨む。鎌手駅までのアクセスで西浜田駅と折居駅で上り列車と離合。



※いざ鎌手！！ホテルから浜田駅へ

本日の各駅舎到着時刻は次の通り。

鎌手（8:15）～岡見（10:08）～三保三隅（11:48）～折居（13:37）～周布（すふ、15:02）～西浜田（16:12）～浜田（17:58）



※鎌手駅、岡見駅への路

①岡見駅は国道9号線から離れた位置にあったので、立ち寄りに苦労した駅舎のひとつ。8時20分、浜田30km、大田91km、松江156kmと記した道路標識前を通過。8時23分、益田市立鎌手中学校があった。8時43分、土田バス停辺りから幹線道路が鉄道から離れる。花水橋を少し行った先で、益田市から浜田市となる。山間を淡々と歩く。9時過ぎ国道から左折する道筋があり、界限には人

の姿は見えない。右往左往した結果、左折し 10 分位進むが地図の道筋ではないと判断し引き返す。後で考えたところ、この路筋を直進しても OK であったような気がする。運よく地元の人の方を見かけたので、岡見駅への道筋を聞く機会を得る。「次の信号を左折すれば、岡見駅に到着できます」と教えて頂く。ホッとする。



※右往左往した結果、予定していない道筋に入る



※岡見駅への路

9 時 45 分、地図にあった交差点を左折する。しかし、ここから岡見駅は遠かった。9 時 49 分、岡見駅と三保三隅駅への案内板前を通過。今か今かと歩き、やっと 10 時 8 分、岡見駅に到着できる。駅舎には地酒が飾られていた。



※岡見駅



※岡見駅

②10時21分、先程の交差点に戻る。10時29分、セミの合唱を聞きながら山道を下る。県道171号線（益田種三隅線）を淡々と歩く。10時44分、海岸線に出る。11時12分、214歩ある三隅川（ちもと橋）を渡る。11時18分、三保三隅郵便局の前を通過、ここから三保三隅駅は近いと思ったが、歩いて歩いて到着できず。11時20分、神社前で本日の安全を祈願する。この路筋を直進したところ、踏切にぶつかる。再度引き返し、神社前を右折する。「そろそろ駅かな」と思いしや、国道9号線に合流（11時28分）する。右手に川がある道筋を歩いた先に、やっと三保三隅駅（11時48分）があった。それにしても長く感じた行程であった。



※三保三隅駅への路



※三保三隅駅への路



※三保三隅駅への路



※三保三隅駅

③鉄道に沿った県道 171 号線を歩く。12 時 21 分、JR 線の踏切にぶつかる。運よく巡回中のバイクに乗った警察官に出会う。折居駅への道筋をお伺いする。「踏切を横切って道の駅にでるのが分かりやすいと思いますが、この山道を上って合流した国道 9 号線からも行けます」と教えて頂く。地図にある後者を選択する。12 時 28 分、T 字路に合流する。しかし、反対方向に進んだため、行き止まりのような場所に到達する。誰かに路筋を聞こうと試みるが人影はなし。運よく今歩いてきた先に国道 9 号線の案内板を見つかる。



※折居駅への路

今来た路筋を引き返す。20 分位ロスタイムが生じる。12 時 58 分、高速道路下を潜る。13 時 2 分、国道 9 号線の標識を見つけ安堵する。途中、工事現場があ

り、「折居駅への道筋」をお伺いする。「この路を直進すれば行けます」と教えて頂く。13時15分、ゆうひパーク三隅前を通過。少し歩いた先に折居駅が見えて来る。13時35分、浜口踏切を横切って鉄道の左側を歩いた先に折居駅（13時37分）があった。風光明媚な海岸線に沿って駅舎があった。駅の備え付けのメモ帳にメモとチラシを置いてこの駅を後にする。



※折居駅への路



※道の駅” ゆうひパーク三隅、遠くに折居駅



※折居駅



※折居駅

④13時46分、山陰街道踏切を横切り JR線の右側となる。14時13分より、120歩ある大麻トンネルを通過する。石見交通のターミナルを通過した先に周布駅（すふ）があった。15時28分、周布踏切を横切り JR線の左側となる。15時30分、郷社八幡宮前を通過。西浜田駅には16時12分到着する。



※折居駅前の海岸線、山陰街道踏切、大麻トンネル



※石見交通バスターミナル



※周布駅



※郷社八幡宮、西浜田駅への路



※西浜田駅

16時29分、国道9号線に合流する。しかし、ここから浜田駅北口への道筋を見逃し、大回りとなる。30分位、浜田駅界限を一周する。路に迷ったお蔭で、

道路上の壁に展示された小学生の絵画作品前（17時52分）や43年間お世話になったフコク生命の松江支社浜田営業所前（17時56分）を通過できる。浜田駅には17時58分到着する。到着するや否や18時からの駅前の太鼓の音色が聞こえてくる。



※浜田駅への路



※浜田駅

⑥ホテルで汗を流した後、昨日行った居食屋”きらら”に向かう。ここで本日の疲れを癒す。



※ホテルで汗を流した後、”きらら”で祝杯！！

第5節 3日目：8月3日（水）：温泉津～浜田 晴れ

2022年8月3日（水）晴れ、山陰本線仕上げ旅の3日目は、温泉津駅（ゆのつ）から浜田駅までの営業キロ35.4kmに挑戦する。営業キロ35km超えは、2022年5月31日（火）の山陰本線（戸田小浜～奈古：35.9km）以来で、本年度で2度目である。当初は、黒松駅から浜田駅までの29.4kmを予定していたが、明日の天気が雨マークのため、温泉津駅から黒松駅までの5.7kmを急遽前倒しする。また、明日は重いリュックを背負っての歩きを少しでも軽減させるためもある。その関係から浜田発6時34分から始発の5時22分に変更する。結果大成功であった。



※始発で温泉津駅へ

浜田駅から車窓から見える沿線につながる道筋を軸に風景を楽しむ。本日は進行方向に対し、右側左側に駅舎があるかを確認しながらメモする。地方駅舎は一方方向しか改札口がないパターンが多々登場する。運が悪いと 300m～500m 位迂回を余儀なくされる。この観察が功を奏す。各駅舎到着時刻は次の通り。

温泉津（ゆのつ、6:11）～石見福光（7:40）～黒松（8:51）～浅利（10:13）～江津（ごうつ、11:55）～都野津（13:05）～敬川（うやがわ、13:38）～波子（はし、14:32）～久代（15:33）～下府（しもこう、16:50）～浜田（18:00）



※温泉津駅

①温泉津駅界隈を色々なアングルで撮影後、石見福光駅を目指す。6時26分、JR線下を潜り鉄道の左側となる。6時37分、国道9号線に合流する。6時44分より、万歩計で329歩ある温泉津トンネルを通過する。7時3分、下関227km、浜田36km、江津15kmと記した道路標識前を通過。”福光”という記載がある陸橋を渡り、国道9号線を右折する。その先に大田市立温泉津中学校（7時20分）が、暫く歩くと温泉津小学校（7時25分）があった。ここから淡々と直進する。住宅街に入り、不安となった。運よく庭掃除をしていた方が居られ、「石見福光駅の方向性」をお伺いする。「真っ直ぐ歩いた先を右折し、線路沿いを歩いた先にあります」と教えて頂く。教えてもらった通りに歩いた先に石見福光駅（7時40分）があり、500m位戻った先に駅舎はあった。



※温泉津駅界限、国道9号線に合流、温泉津トンネル



※石見福光駅への路



※石見福光駅

②先程の道筋を歩き、橋の袂まで戻る。運よく地元の方に出会い、「前方の橋を渡って黒松駅に行けるか否か」を確認する機会を得る。答えは「行ける」とのことであった。7時50分、84歩ある橋を渡る。その先で今浦トンネル(225m)の傍の線路を跨ぎ鉄道の右側となる。山の中で鉄道が交差していたのだろう。8

時2分、鉄道を跨ぎ、鉄道の右側となる。セミの聞こえる森を上り特急が通過して行く。8時6分、JR線下を潜り、鉄道の左側となる。8時10分、国道9号線に合流する。8時28分、大田市から江津市となる。遠くから鉄道らしきものが見えたので線路下を潜り、少し戻る。しかし、駅舎らしきものが見えない。運よく地元の人に質問をする機会を得る。「その先の小径を歩き、階段を上った先にあります」と教えて頂く。階段の途中、愛らしい猫に对面。急な階段を50段位上った先に黒松駅（8時51分）があった。先日の京都の旅で叡電の二ノ瀬駅を思い出した。



※川を渡り、今浦トンネル界隈の鉄道を跨ぐ



※黒松駅への路、愛らしい猫逃げず



※黒松駅

③国道9号線に戻る。9時2分、浜田31km、益田72km、下関222kmと記した道路標識前を通過。9時24分、サンピコごうつ（道の駅）前を通過。9時37分、国道9号線を右折し、JR線下を潜り、鉄道の右側となる。この路筋は少し遠回りしたようだ。海岸線に沿って風力水車、が何台もあった。9時50分、大回りしたお蔭で、巖島神社前にて本日の安全を祈願できる。10時8分、東浅利里道踏切を横切り、国道9号線に合流する。浅利駅には10時13分到着。背後には風力水車があった。



※浅利駅への路、巖島神社



※浅利駅への路



※浅利駅

④10時47分から7分要し、470mある浅利トンネル（万歩計810歩）を通過する。11時12分、JR線を跨ぐ。11時40分、浜田21km、益田62km、下関212kmと記した道路標識前を通過。11時40分、728歩ある江川橋（江の川）を渡る。江津駅には11時55分到着。



※江津駅への路



※江津駅

⑤12時21分、浜田19km、益田60km、下関210kmと記した道路標識前（江津市嘉久志）を通過。都野津駅には13時5分到着。そして、淡々と歩いた先に敬川駅（13時38分）があった。



※都野津駅への路



※都野津駅



※敬川駅への路、敬川駅

⑥14時15分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。13時47分、128歩ある新敬川橋を渡る。13時56分、浜田13km、益田55km、下関205kmと記した道路標識前（江津市敬川町）を通過する。14時10分、江津行きの路面バスと対面する。第六感が働き、風光明媚な海岸線から離れ、住宅街が続く道筋に切り替える。運

よく地元の方に出会う。「道なりに歩くと行けます」と教えて頂く。海岸線から離れた高台を淡々と歩く。波子駅（はし）には14時32分到着する。



※波子駅への路



※波駅

⑦路地歩きをして、14時47分、国道9号線に合流する。その先の橋を渡ったところで左折すべきか直進すべきか迷う。誰かに聞こうとするが住人の姿は見えぬ。決断の結果、引き返しを覚悟で左折する。川に沿って10分位歩いた先で運よく住人の方に出会う。「ここから暫く歩くと高架した鉄道にぶつかります。手前に沿って淡々と歩くと久代駅に到着できます」と教えて頂く。15時、高架した鉄道が見えて来る。その手前を恐る恐る右折する。鉄道に沿ってひっそりした小道が続いていた。所々に民家があり安堵する。途中、民家の方にお会いし、念のため「この路をあるけば、久代駅に到着できるか否か」を問い合わせる。「昔はこの路が久代駅への旧道でした。行けます」の回答で安堵する。



※久代駅への路



※久代駅への路

15時13分、線路が見えて来て安堵する。25分位歩き、やっと森のトンネルが終り、前方に民家が見えて来た辺りで運よく地元の人にお会いする。「この路の先を左手に行った先に久代駅がある」とのことであったが、鉄道も駅舎も全く見えず右往左往する。辺りにお尋ねしようとするが住人の姿が見えず。それ故、これまでの第六感を頼りに直進する。その結果、運よく急な坂を上った先に久代駅（15時33分）があった。朝の駅舎観察が多少なりとも功を奏した。この駅舎は、”こだわり鉄道つたい歩き”の神髄を貫いた結果、立ち寄れた駅舎で達成感は一入となった。



※久代駅



※久代駅



※久代駅を後に、遠くに久代駅

⑧くねくねした民家の道筋を歩き、久代川を横切る国道9号線には15時45分合流する。国道9号線を淡々と歩く。16時41分、下府（しもこう）本町バス停前を通過。下府駅には16時50分到着。16時54分、96歩ある下津川（つちあな橋）を渡る。



※下府駅への路



※下府本町バス停、下府駅



※下府駅

17時12分、JR線を跨ぎ、鉄道の左側となる。17時45分、JR線を跨ぎ、鉄道の右側となる。ここで、昨日の浜田駅界限で遠回りした失敗の原因が判明する。すなわち、鉄道の方向性を誤ったと察知する。国道9号線を下りて、鉄道に沿った路筋に出る。17時48分、長沢踏切を横切り、鉄道の左側となる。鉄道に沿って歩いた先に浜田駅（18時）があった。昨日と同様、浜田駅に到着するや否や祭りのお囃子が聞こえて来る。



※浜田駅への路



※長沢踏切、浜田駅近し



※浜田駅南口、お囃子が聞こえて来る

⑨ホテルで汗を流した後、ごはん処・さけ処”まめだ”で本日の疲れを癒す。



※ホテル推奨の”まめだ”で祝杯